

平成26年度 事業計画書

社会福祉法人 高梁市社会福祉協議会

平成26年度 社会福祉法人高梁市社会福祉協議会事業計画

<基本理念>

『みんなでつくる いきいきと暮らせる愛のまち たかはし』

～ささえあい・たすけあいのまちづくり～

説明…本会は、市民の身近な組織として、高梁市で暮らすすべての人が、ささえあい・たすけあって住み慣れた地域でいつまでも安心して生活ができる社会を目指します。

基本目標	重点目標
1. 地域で活躍できる人づくり	(1) 地域福祉を推進する人材の育成
	(2) ボランティア活動の活性化
	(3) 福祉関係団体の支援
	(4) 生涯地域で活躍できる社会参加の支援
2. 手と手をつなぐ地域づくり	(1) 「ささえあい・たすけあい」で繋がる地域福祉の推進
	(2) 福祉委員を中心とした小地域福祉ネットワークづくりの推進
	(3) 地区社会福祉協議会の健全育成及び連携強化
	(4) 更なる賛助会費制度の普及と会員加入の促進
3. 地域を支える環境づくり	(1) 福祉に関する広報啓発活動の推進
	(2) 利用しやすい窓口体制の整備
4. 安心して暮らせる体制づくり	(1) 利用本位の福祉サービスや制度の充実強化
	(2) 介護職員の資質を高め専門性を発揮したより充実した介護サービスの提供

＜基本方針＞

本市を取り巻く環境は、過疎化、少子高齢化が急激に進んでおり、人口減少に加え一人暮らしや高齢者世帯の増加等による地域のコミュニティ機能の低下等により、福祉サービスに対する意識の多様化、量的拡大、質的向上に加えサービスの個別化が求められています。

また、介護保険サービス、自立支援サービス、障害者総合支援サービス及び日常生活自立支援サービス等、本市社会福祉協議会の主要施策となる各種サービスは、人としての尊厳が守られ、基本的人権が保障されることは勿論、要支援者とその家族が地域で安心して暮らせるためのサービスが更なるニーズとして高まっています。

こうした状況の中で、本市社会福祉協議会は、「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」として、引き続き地域福祉推進の中心的役割を担うため、地域福祉活動計画の基本理念に掲げた「みんなでつくる いきいきと暮らせる愛のまち たかはし」を目指し、本年度より4つの基本目標と各重点目標を掲げて各種事業に取り組みます。

まず、住民一人ひとりが地域社会の中で自らの経験と知恵を活かし、地域福祉の担い手として積極的かつ自主的に活躍できるよう、ボランティアセンターやシルバー人材センターの運営等により、学習及び活動ができる場や機会の提供の充実を図ります。また、若い方々の社会参加を促すなど人材の育成や発掘に努めるなど福祉教育を推進し、「地域で活躍できる人づくり」に取り組んでいきます。

次に、地域の人々が自分たちの住んでいる地域に目を向け、主体的に地域福祉活動に取り組む機会をつくとともに、ささえあい、たすけあって地域福祉課題を解決するための基盤の整備を図り、各関係機関との連携を強化し、福祉委員や地区社協を中心とした小地域福祉ネットワークの構築により、「手と手をつなぐ地域づくり」を目指していきます。

そして、地域で安心して暮らしていけるように、必要な方に必要な福祉情報を分かりやすく提供していくとともに誰もが気軽に相談できる窓口を整備することにより「地域を支える環境づくり」を推進します。

また、地域の人々が住み慣れた地域で自立して暮らしていけるように、関

係機関と連携を図り、地域格差のない福祉サービスを提供していくために、職員の資質を高めるとともに組織の効率化を図ることにより、「安心して暮らせる体制づくり」を推進します。

この4つの基本目標を柱として引き続き役職員が一丸となり、市民皆様に地域福祉づくりの大切さをご理解いただく努力を続け、「ささえあい・たすけあいのまちづくり」が日常的に行われる相互支援の地域社会の実現のため、市民皆様のご協力を得ながら各事業を推進します。

(各事業の実施計画)

1. 法人運営 119,515千円

(1) 理事会、評議員会等の各種会議の開催

①正副会長会の開催 4回

②理事会の開催 4回

③評議員会の開催 3回

④各種委員会の開催 8回

(総務企画委員会3回、社会福祉委員会3回、表彰選考委員会1回、苦情解決第三者委員会1回)

⑤支会運営委員会の開催 10回

(2) 会員制度の広報、普及による自主財源の確保

広報紙等により会費の情報を提供するとともに、会費協力者等の情報開示を適切に行うことにより制度の普及と充実に努める。

また、社協事業の周知により各事業の利用促進と賛助会員の加入促進を図る。

○普通会员

各地域で福祉委員連絡会総会を開催し事業説明を行い、市民皆様に理解と協力をいただくよう依頼する。

○ふるさと会員

市外在住の方で、本市にゆかりのある方に対し「ふるさと会員」への協力をお願いする。

○法人会員

市内の各法人等に対して、「法人会員」の協力をお願いする。

<目標> 普通会員数 6,800 件

(平成 25 年度実績見込 6,700 件)

(3) 役職員の資質向上のための研修及び内部監査の実施

計画的な研修の実施より職員の意識改革及び育成に努める。

また、役員等へ研修の場を提供し、地域福祉意識の高揚を図り、役職員一体となって業務遂行のできる環境づくりを進める。

- ・ 計画的な職員の外部研修 30 回
- ・ 内部研修 1 回
- ・ 内部指導監査の実施 1 回
- ・ 役員(監事)の研修 2 回

(4) 事務効率の向上及び経費節減のための事務改善

引き続き庁内ネットワークシステムを活用し、迅速な情報提供・共有による事務効率の向上とペーパーレスによる経費削減に努める。

2. 企画広報事業 2,903 千円

広報紙、社協ホームページ、ふれあい福祉講座、福祉座談会等あらゆる機会において、社協の活動が十分に周知できるよう広報活動に努める。

また、新聞やケーブルテレビの活用による広報強化を検討する。

○「ふれあい福祉」の発行

市民への情報発信として広報紙を発行する。

<目標> 年 6 回奇数月に発行

○ホームページの更新、充実

社協の情報を迅速に提供するため、情報発信と内容の充実に努める。

○社協会長表彰

地域社会福祉向上に顕著な功績があった個人、団体に対し表彰を行う。

3. 地域福祉推進事業 29,991 千円

(1) ふれあいのまちづくり事業

①ふれあい福祉講座

地域住民が福祉に対する理解を深め、「ささえあい・たすけあいの福祉のまちづくり」の推進を図るため福祉委員や福祉のまちづくりの研修として開催する。

また、事例の発表等により、各地域における福祉委員活動やサロン活動などの地域福祉活動の活性化を図る。

<目標> 福祉委員参加者 200人、全体 700人
(平成25年度実績見込 全体 700人)

②福祉委員活動支援

○福祉委員の設置

全町内会に福祉委員を設置するため、未設置町内会に出向き説明等により設置に努める。

<目標> 設置数 680町内会
(平成25年度実績見込 677町内会)

○小地域福祉ネットワーク活動の推進

民生委員児童委員等との連携、情報交換を図るために合同会議等の開催を推進する。

・福祉委員連絡会

年度当初時期での総会の開催(15地区)等を推進し、福祉委員の役割や社協の事業などについて説明するとともに、地域福祉推進のため協力を依頼する。

・福祉委員連絡協議会

各福祉委員連絡会相互の連携を図ることにより、総合的かつ効果的な地域福祉活動を行うため年2回の開催を目指す。

○福祉委員の活動支援の推進

- ・「福祉委員活動のてびき」の周知による役割の明確化に努め、活動強化月間等の促進により活動の充実を図る。
- ・福祉委員届出に基づく福祉委員証の発行等により意識の高揚を図る。
- ・ボランティア活動保険への加入により活動支援を行う。

③健康福祉のつどい

保健、医療、福祉、ボランティア活動に功労のあった方々を顕彰す

るとともに、保健福祉の認識を一層深め、21世紀の高梁市のすべての人々が健康で心豊かに生活できるよう「心のつながりを大切に 支えあい助けあう 安心のまちづくり」を目的に市との共催により開催する。

(2) ふれあい相談事業

高齢者等の日常生活における心配ごと等について相談に応じ、適切な助言及び支援を行うことにより、自立の支援を促進する。

また、相談は民生児童委員、身体障害者相談員等の協力を得て実施する。

○定例相談（高梁総合福祉センター）

第1木曜日 身体障害者相談

第3木曜日 高齢者サービス、心配ごと相談

○随時相談（各社会福祉協議会事務所） 福祉総合相談

(3) 地域福祉活動事業

①地域福祉活動計画の推進

安心して、いきいきと暮らせる地域社会を目指す地域福祉活動計画を総合的に推進する。

○計画の理解と普及

計画の目指す方向性や取り組みについて、広報紙やホームページ、福祉座談会などを通じて計画を広く周知し、住民ニーズの把握に努め、計画を推進する。

○計画の進捗管理と評価体制の整備

数値目標や方策について効率的な進捗管理を行う。

○事業成果の公表

各事業の進捗状況や事業成果について、広報紙等で公表し、透明性を図る。

○福祉座談会（地域福祉活動事業）

住民が住み慣れた地域での生活、福祉課題、ニーズを把握し、社会福祉協議会活動への理解を深めるための情報提供等により事業推進を図る。

<目標> 15地区で開催

②地区社会福祉協議会の活動支援

地域に根ざした特徴的な地域福祉活動を推進することにより、ささえあいたすけあいの住みよい地域社会の実現に向け支援を図る。

総会等において、社協が実施している事業について紹介するとともに、情報交換等により地域福祉の推進に向け連携の強化を図る。

○地区社協会長会の開催

地区社協相互の意見交換等の場を設け、情報提供等を行い、地域福祉活動の活性化を図る。

新規全地区への地区社協の設置

地域福祉活動の推進を図るため、関係機関の協力を得て未設置地区への設置を促進する。

③ふれあいサロン事業

地域で安心していきいきとした生活を送ることができる相互システムを身近な範囲に構築し、住民の福祉意識の向上を図るとともに、活動に対して助成を行う。

また、広報紙等を活用した制度や事例の紹介、ふれあい福祉講座や代表者の研修や交流会の開催による運営リーダーの育成、新規立ち上げ等相談や情報提供等により活動の活性化と充実を図る。

<目標> 助成件数110件（平成25年度実績見込107件）

④ちょこっとお助けサービス事業

行政が実施する高梁市軽度生活援助事業の補完事業として、身近でちょっと困るが自分ではできないような困りごとに対するサービスを行う。

また、高梁市軽度生活援助事業との調整、連携によりの確なサービス提供に努める。

○同種事業である高梁市軽度生活援助事業への統合を検討する。

<目標>年間実利用人数 10人（平成24年度実績 4人）

⑤福祉団体活動助成事業

市民で組織され、市内を活動範囲とする団体の運営費又は事業費の

一部を助成し、活動団体の一層の活性化を図る。

⑥在宅要介護者調査等

社会福祉協議会自主事業実施に係る調査業務等を、高梁市民生委員児童委員協議会に委託し実施する。

⑦車両貸出

福祉団体等に対して、団体等の活動のために使用する場合に自動車の貸し出しを行う。

(4) 老人福祉事業

①敬老祝い品贈呈事業（老人福祉事業）

永年にわたり地域の発展に尽力された高齢者に感謝の意を表すとともに、米寿を祝い記念品（肖像写真）を贈呈する。

また、福祉委員の協力を得て、事業推進し贈呈率の向上に努める。

<目標> 贈呈率 70%（平成25年度実績見込74.19%）

②敬老事業（老人福祉事業）

高梁市敬老事業の受託及び自主敬老事業を実施し、永年にわたり地域社会に尽くした高齢者の長寿を祝い実施する敬老事業の開催を推進し、敬老意識の高揚を図る。

<目標> 敬老会開催数 50件

敬老会参加助成 1,900人分

（平成25年度実績見込 62件 2,129人）

③老人クラブ活動支援

高梁市老人クラブ連合会及び各地域老人クラブの活動への支援を行う。

④日常生活用具貸出事業

虚弱な高齢者等へ、生活補助用具（特殊ベッド、車椅子）を、無料で短期間貸し出す。

(5) 生活福祉資金貸付事業

岡山県社会福祉協議会から事業を受託し、生計困難で必要な資金の融資を他から受けることができないことにより資金を必要とする方に、必要な資金の貸付を行い、自立更生の支援を行う。

また、職員の専門性を発揮することにより、迅速な相談対応に努める。

(6) 障害児・母子・児童福祉事業

福祉活動団体の一層の活性化と地域福祉推進のため、障害者スポーツ大会等の支援を行う。

(7) 災害福祉事業

①被災家屋等復旧費助成金支給事業

自然災害又は火災により、住宅等の建物に被害を受けた世帯の生活不安の解消及びお互いに助け合う地域づくりのため、福祉委員が関わり地域住民等による復旧活動を実施した場合に、復旧費の一部を助成する。

②災害等見舞金支給事業

自然災害又は火災により、現に居住している住宅等の建物及び人的被害を受けた世帯及びに対し、見舞金又は死亡弔慰金を支給する。

4. 在宅福祉サービス事業 119,344千円

(1) 高梁市福祉移送サービス事業

社会参加及び生活支援のために自動車ドア・ツー・ドアによる移送サービスを行う。

安全運転に関する講習会等を開催し、安全運行に努める。また、市内一体的な運行管理と迅速で正確な運行管理体制を検討する。

○移送車輛の更新

安全運行の確保のため車輛1台を更新する。

○専門研修の開催

安全運転に関する研修等を開催し、安全運転に関する意識の向上を図る。

○高梁市福祉運転ボランティアの会及び各支部の事務支援

＜目標＞	登録会員数	330人	(平成24年度実績	333人)
	延利用回数	4,350回	(平成24年度実績	4,241人)
	運転ボランティア数	70人	(平成24年度実績	72人)

(2) 軽度生活援助等事業

①高梁市軽度生活援助事業

日常生活を営むのに支障のある高齢者に、支援員（シルバー人材センター会員）を派遣し、庭周辺の手入れ等、介護保険サービスにはないサービスを行う。

○提供体制の充実

利用者のアセスメントやニーズ把握に努め、ちょこっとお助けサービス事業との調整、連携を密にするなどサービス提供体制の充実に努める。

○ちょこっとお助けサービス事業の統合を検討する。

<目標>年間実利用人数 16人（平成24年度実績 10人）

②高梁市生活管理指導員派遣事業

日常生活に関する支援が必要な高齢者に、生活管理指導員（訪問介護員）を派遣し、家事の支援等を行う。

<目標>年間延時間数 1,200時間

（平成24年度実績1,074時間）

(3) 高梁市健やか高齢者生きがい支援事業

介護予防、自立支援のため日常動作訓練や趣味活動等の各種サービスを提供するとともに、指定管理施設の適切な管理運営に努める。

○デイサービスの実施

- ・ミニデイサービス：高梁地区の各市民センター等で実施
- ・生きがいデイサービス：備中高齢者生活福祉センターで実施
- ・生きがい対策デイサービス：川上いきいき交流館で実施

○指定管理施設の運営管理

- ・備中高齢者生活福祉センター指定管理施設の管理運営
- ・川上いきいき交流館指定管理施設の管理運営

○事業の周知、利用促進

老人クラブなどへ事業の説明を行い、利用の促進を図る。

各地域のミニデイサービス提供者の合同会議を開催し、サービスの充実を図る。

<目標>年間延利用人数

生きがい（対策）デイサービス

2, 650人（平成24年度実績2, 924人）

ミニデイサービス

3, 100人（平成24年度実績3, 135人）

（4）高梁市給食サービス事業

一人暮らしの高齢者、身体障害者等で調理が困難な世帯に、宅配による食事の提供を行い、あわせて配食ボランティアによる安否確認を実施する。

○事業実施に関わる配食ボランティア団体代表者による合同会議を開催し、情報提供、情報交換により活動の支援を行う。

○高梁市民生委員児童委員協議会等関係機関と連携し、潜在的なニーズの把握に努め、既存団体（業者等）の活用について検討するなどサービスの未実施地区の解消に努める。

<目標>延食数28, 000食（平成24年度実績 延22, 595食）

実利用人数 330人（平成24年度実績 263人）

配食ボランティア数 530人（平成24年度実績 560人）

（5）高梁市寝具洗濯乾燥消毒事業

寝具の衛生管理が困難な方に対し、年間2回、ふとん等の洗濯、乾燥、消毒のサービスを行う。

居宅介護支援事業所などの関係機関と連携し利用者の把握に努める。

<目標>実利用人数 170人（平成24年度実績 148人）

（6）遺族援護事業

高梁市遺族連合会への事務及び運営の支援を行う。

5. 共同募金配分金事業 5, 690千円

（1）一般募金助成事業

だれもが住み慣れた地域で安心して暮らすことができ、住民自らが参加する福祉のまちづくりへの参加を促し、助成金を支給する。

○対象団体

高齢者、身体障害者、児童関係福祉団体、ボランティア団体、地域福祉活動団体等

○助成金の決定方法等

社会福祉協議会理事会で審議するなど透明性を図るとともに、交付団体の意識を促すため交付式を開催する。

また、地域で活躍する団体へ助成を行うため公募方式等の検討を行う。

(2) 歳末たすけあい支援事業

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、歳末たすけあい運動の趣旨に添った個人及び団体に対し慰問金又は助成金を支給する。

個人（慰問金）対象：在宅要介護者、難病者等

団体（助成金）対象：ボランティア団体、福祉団体

○ニーズの把握

高梁市民生委員児童委員協議会との連携を図り、支援を必要とする方の把握に努める。

6. 地域福祉活動基金 142千円

基金の果実をボランティアセンター活動事業に繰出し事業実施する。

7. ボランティアセンター活動事業 2,297千円

ボランティアセンターの運営等により学習、活躍できる場や機会の提供の充実を図り、若い方々の社会参加を促すなど人材の育成や発掘等に努め福祉教育を推進する。

①ボランティア登録事務及び斡旋

ボランティア活動に興味のある個人又は団体のボランティアセンターへの登録を促しボランティア要望のある団体・施設等に斡旋を行う。

②学童、生徒のボランティア活動普及事業

学童、生徒の社会福祉への関心を高め、社会奉仕、社会連帯の精神を養いボランティア活動の推進と啓発を図るために、教育委員会との連携により、市内の小学校、中学校、高等学校をボランティア活動普及事業協力校に指定し、体験学習やボランティアの実践活動を行う。

<目標> 指定校10校（平成24年度実績10校）

③ボランティア活動保険料助成事業

ボランティア活動保険料の150円を助成し、地域における福祉活動及びボランティア活動の一層の推進を図る。

④福祉団体、ボランティア団体活動助成事業

市民で組織され、市内を活動範囲とする団体の運営費又は事業費の一部を助成し、福祉活動団体、ボランティア活動団体の一層の活性化を図る。

⑤夏のボランティア体験事業

市内に在住又は通学している中学生、高校生、大学生を対象に社会福祉について理解を深めるとともに、ボランティア活動に参加する機会を提供しボランティア活動の意識の高揚を図る。

・事前研修会、体験活動、事後研修会の開催

生徒・学生が、ボランティア活動に積極的に取り組めるよう、学校や教育委員会、各関係機関との連携強化に努める。

<目標> 参加者 250人（平成25年度実績見込 193人）

⑥ボランティア育成事業

ボランティア及び災害ボランティアの研修会や交流会等を開催し、活動の普及とボランティアリーダーの育成に努める。

<目標> 年2回開催（平成24年度実績 1回）

⑦福祉出前講座

福祉の心を育てるため、ボランティア団体等と連携を図り、市内の地域に出向き福祉に関する講座（高齢者擬似体験、車椅子体験、手話体験、福祉講座等）を教育機関との連携等により実施する。

<目標> 25回（平成24年度実績 17回）

⑧活動支援

ボランティア活動に興味のある個人又は団体の状況やボランティアを要望する団体施設等の募集や情報をホームページ等で発信するなど情報発信の体制を強化する。

市内ボランティア団体相互に情報共有できる体制の整備に努める。

8. 福祉サービス利用援護事業 7, 512千円

(1) 日常生活自立支援事業

岡山県社会福祉協議会からの受託事業として、認知症等により、金銭管理、福祉サービスの利用手続き等に不安がある方を対象に、生活に必要な預貯金の出し入れや福祉サービスの利用手続きなどの支援を行う。

利用に関する相談への対応や利用契約の締結までを専門員が行い、契約後は、各地域の生活支援員が利用者宅を訪問するなどして支援を行う。

○サービスの種類

福祉サービス利用援助、日常的金銭管理サービス、書類等預かりサービス

<目標> 実利用者数 11人（平成25年度実績見込 11人）

9. 資金貸付事業 3, 040千円

(1) 福祉資金貸付事業

低所得者及び障害者への資金の貸付（無利息）による自立支援及び償還指導を行う。

また、職員の専門性を発揮することにより、迅速な相談対応に努める。

○資金種別

生活福祉資金貸付生活福祉資金貸付（貸付限度額10万円）

出生、死亡、疾病等一時的資金貸付（貸付限度額20万円）

10. 介護保険事業 254, 362千円

充実した介護保険サービスを提供していくために、職員の資質を高めるとともに運営体制の効率化を図る。

(1) 居宅介護支援事業

○介護サービス及び介護予防サービスのケアプラン作成

要介護又は要支援状態になった場合でも、利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じた生活を営むことができるように、居宅介護サービスの計画を作成し、介護サービスの提供が確保されるように各サービス事業所等への連絡調整を行う。

川上、備中は、特定事業所として運営を行う。

○要介護認定調査

介護保険要介護更新認定、要支援更新認定申請者に対して、市の代行で調査を行う。

○介護支援専門員の専門性を高めるため研修会への参加等により、質の高いサービス提供に努める。

<目標>

	高梁	川上	備中	合計	平成24年度実績
要介護支援延回数	840	1,177	1,260	3,277	3,537
予防介護延回数	192	59	150	401	383

(2) 訪問介護事業

○介護保険利用者への指定訪問介護及び指定介護予防訪問介護の提供

ホームヘルパーが居宅を訪問し、調理や掃除、洗濯、買物等の家事援助及び入浴、食事、排泄等の身体介護の生活援助を行う。

○障害者総合支援事業利用者への居宅介護サービスの提供

障害者（児）が地域で安心して暮らせるよう、ホームヘルパーが居宅を訪問し、身体介護及び家事援助を行う。

○移動支援の提供

1人で外出できない障害者（児）等が、社会参加活動のために外出する場合、介護員が移動の支援を行う。

○登録ヘルパーを含めた研修会を定期的を開催し、質の高いサービス提供に努める。

<目標>

種類	利用延回数	平成24年度実績
介護保険 訪問介護	9,106	9,692
介護保険 予防介護	3,702	4,074
障害者総合支援 居宅介護	1,092	1,139
移動支援	57	27
計	13,957	14,932

(3) 訪問入浴介護事業

看護・介護職員が、移動入浴車等で居宅を訪問し、浴槽を提供し入浴の介護サービスを行う。

- 看護・介護職員の専門性を高めるため研修会へ参加し、質の高いサービス提供に努める。

<目標> 利用延回数 691回 (平成24年度実績 1,011回)

(4) 通所介護事業

居宅まで送迎し食事、入浴などの日常生活支援や機能低下を防止するための機能訓練や心身の活性化を図るための日常生活支援、日常動作訓練等のサービス提供を日帰りで行います。

- 備中デイサービスセンター、川上デイサービスセンター指定管理施設の管理運営
- 職員の専門性を高めるため研修会へ参加し、質の高いサービス提供に努める。
- 生活機能が低下しないように個別のニーズに応える介護の提供を行う。
- 巨瀬デイサービスセンターは、高梁市基準該当通所介護として運営を行う。

<目標>

	高梁	川上	備中	合計	平成24年度実績
通所介護 延回数	352	3,192	3,120	6,664	6,864
介護予防 延回数	308	698	732	1,738	1,587
計	660	3,890	3,852	8,402	8,451

(5) 認知症対応型共同生活介護事業

指定認知症対応型共同生活介護サービスの提供 (ささゆり苑)

認知症状態にある利用者に対し共同生活を営む住居において、家庭的な環境の下での日常生活の世話、及び機能訓練等の居宅介護サービスを行う。(定員9名)

- 看護師の定期的な派遣による健康管理に努める。
- 介護職員の専門性を高めるため研修会へ参加し、質の高いサービス

提供に努める。

○家庭的な環境に近く、地域社会とのつながりを含めた、利用者にとって馴染みのある暮らしを目指す。

<目標> 延利用者 2, 964人 (平成24年度実績 3, 132人)

1 1. 保健センター運営管理 2, 164千円

川上保健センターの維持管理に努める。

1 2. 高梁市シルバー人材センター事業 (公益事業) 103, 849千円

働く意欲のある高齢者に、知識や経験、技術を活かした臨時的かつ短期的な仕事、又はその他の軽易な仕事を提供する。

また、事業周知を図り、会員増強と受注拡大に努める。

<目標> 登録会員数 297人 (平成24年度実績 280人)

延受注件数 1, 870件 (平成24年度実績 1, 777件)

延就労人員 17, 850人

(平成24年度実績 17, 175人)

・職群班の円滑な運用

班長会、班会を開催し、情報提供や情報の共有を促進する。

屋外・屋内軽作業班の編成を改め班の効率化と円滑な運用を図る。

・安全管理の推進

シルバー人材センターのしおりの活用や講習会等の開催により会員の安全就労に対する自己管理意識の高揚と安全適正就労の推進を図る。

安全・適正就労パトロールを実施する。(岡山県シルバー人材センター連合会と共同実施)

<目標> 2回 (平成25年度実績見込2回)

危機管理講習会、安全・適正就業講習会を開催する。

<目標> 2回以上 (平成25年度実績見込2回)

・作業区域の効果的な運営

会員の所属区域を超えた範囲の運用により、繁忙期や専門的な作業

での効果的な運営を推進する。

1 3. 総合福祉センター運営管理（公益事業） 27, 248千円

施設維持に伴う大規模修繕や適切な管理運営を図るため福祉センター管理運営委員会を開催する。

また、多くの方に利用していただくよう広報周知に努める。

○高梁総合福祉センター管理運営（竣工 昭和51年3月20日）

○成羽総合福祉センター管理運営（竣工 昭和59年3月20日）

1 4. 高齢者統合在宅支援施設の運営管理（収益事業） 1, 433千円

ほのぼの荘の維持管理に努める。